

令和4年度 第56回 中学生の「税についての作文」
まちだ納税貯蓄組合連合会優秀賞

「私達を支える税金」

町田市立町田第一中学校 3学年 菊池 壮真

私は、中学校の野球部に所属しています。いつも試合の遠征のときは父に車で送り迎えをしてもらっています。中学二年生のその日も遠征の帰り道、練習試合でくたくたになった私は、ぼんやりとカーナビを眺めていました。

すると、自分達の車がカーナビにない道路を走っていることに気が付きました。窓から車の外を見てみましたが、そこは立派な道路でした。不思議に思った私は、父に「なぜこの道はカーナビにのっていないの。」と聞きました。すると父は「この道はこの車が作られた後にできたからこの車についているカーナビには登録されていないのだよ。」と話してくれました。この車は私が生まれてから買ったものらしいので、この道路はここ一五年以内に作られたことになりました。ここまで立派な道路を作るためにはたくさんのお金と人手が必要です。それを現実させるためには、たくさんのお金がかかるはずです。そこで私は父に「今この車が走っている道路もそうだけけれど、道が作られるときは税金が使われているのだよね。消費税は八パーセントから十パーセントになったけれど、それだけでこの道路を作るお金ってまかなえるのかな。」と聞いてみました。すると父は「道が作られるときは確かに税金が使われているけれど、消費税だけではなくて自動車重量税というものが使われているはずだよ。」と話してくれました。私は自動車重量税がよくわからなかったので、手元のスマートフォンで検索してみました。一番上のサイトを開くと、「車の重量や用途区分、経過年数に応じて徴収される国税のこと」と出てきました。私は車が好きですが、この自動車重量税については知らなかったもので、車を所有しているだけでお金がかかることに驚きました。

私はまだ自分が税金を払う機会がほとんどありません。せいぜいそれは消費税くらいで、直接税としてお金を納めることがなかったので、税金についてあまり深く考えていなかったように思います。むしろニュースなどを見ると、用途が分からないまま税金がなくなり、増税が繰り返されていて、取りすぎだと感じることもさえありません。正直、無駄遣いされるくらいなら支払いたくないと思っていました。

しかし、道路や学校など、気付かないだけで税金は私の生活を支えてくれているものだと分かりました。私が野球に打ち込める環境も税金によって成り立っているのです。税金を取り巻く問題には、色々な意見がありますが、私はこの出来事をきっかけに、税金は正しく使われるのであれば必要なものだと思うようになりました。私が大人になって税金を納める頃には税金が正しく使われ、より良い世の中になってほしいと思います。